

学校だより

11月号

【学校教育目標】

つなしま

共に創り 共に歩み 共に輝く



令和5年10月31日

横浜市立綱島小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

地域の歴史を学び、伝統を受け継ぐ

校長 金森孝子

学びを楽しく、より広く深くというねらいから、学校ではゲストティーチャーを招いて「出前授業」による学習を取り入れています。コロナ禍では、外部の方をお招きすることが難しく、長年継続していた「出前授業」が中断することもありました。今年度は、多くの学年で、地域や専門家の方々に入っただき授業を行っていただいています。「やっと、再開することができてうれしいです。今年度、初めてです。」ある講師の方の言葉です。特定の分野に詳しい方から専門的な話やその方の経験を伺うことは、とても貴重な機会となります。知識として理解するだけでなく、授業を受けたことで生まれる疑問に直接答えていただいたり、講師の方のキャリアにまで質問が飛び交ったりすることもあります。「出前授業」は子どもにとって「もの」「人」「こと」との出会いの場であり、その後の学習や生き方に影響を受けたり新たな目標につながったりもします。

4年生は、9月6日、「横浜市ふるさと歴史財団」の方に社会科「吉田新田」の授業をお願いしました。現在の横浜(西区、南区)と新田ができる前の江戸時代の地図を比べながら、当時の人々の生活や工事など、具体的に教えていただきました。また、10月19日には、綱島お囃子保存会の方に、「地域に受け継がれてきたもの」として、お囃子と獅子舞を披露していただきました。子どもたちは、笛の音色や太鼓のリズムを感じながらお囃子の世界に浸っていました。現在、保存会は50名前後の方が所属し、綱島のお祭りなどで演奏されているそうです。

6年生は、10月13日、「県立歴史博物館」の学芸員の方に、江戸時代の綱島について教えていただきました。江戸時代の地図をもとに、鶴見川、早渕川と街道の位置を確認したり、寺院や旧街道の周辺に残っている庚申塔



(石像)などの写真を見たりして、この地の歴史を身近に感じる学習でした。まるで、綱島の江戸時代にタイムスリップしたようでした。歴史のある綱島に生活していること、数百年前も綱島には人々の生活があり、水害などの災害から生活を立て直し、知恵を受け継ぎながら今があるということなど、子どもたちにはぜひ感じてほしいと思いました。

他の学年も、様々な方々に「出前授業」をお願いしています。詳しくは、ホームページをご覧ください。多くの「もの」「人」「こと」と出会い、学びや関心の幅を広げ、社会や未来とつながる子どもたちの育成をこれからも進めてまいります。

江戸時代の綱島についての講話

【お礼】10月28日、さわやかな秋空のもと、「一致団結 ～みんなで力を出し切り 運動会を楽しもう～」をスローガンに、2023年度運動会を開催することができました。子どもたちは、練習の成果を出し切り、運動会を楽しんでいました。多くの方のご参観と温かな声援や拍手をいただき、本当にありがとうございました。